

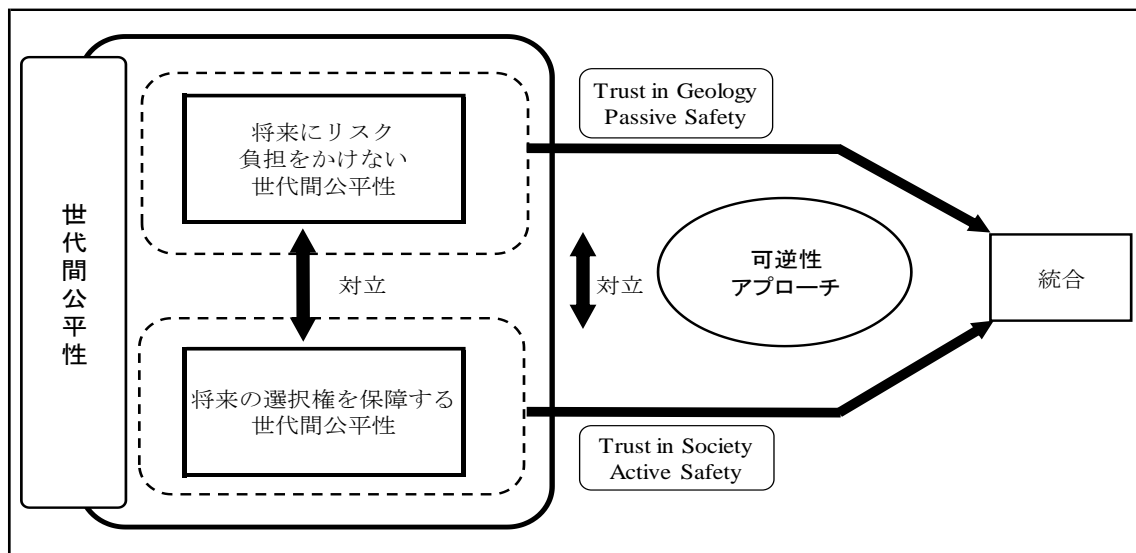
新しい科研プロジェクトを開始しました。

科学研究費補助金・基盤研究(B)(19H04342)「可逆性アプローチによる高レベル放射性廃棄物(HLW)管理政策と世代間公平性」(研究代表者:松岡俊二、2019年度~2021年度)

概要: 高レベル放射性廃棄物(HLW)の地層処分政策に対する社会的合意形成が困難な最大の要因は、現在世代と将来世代との間におけるリスク負担と政策選択権の配分をどのようにすることが公平(公正)なのかという、世代間公平性問題(PIP: Pure Intergenerational Problem)の解が一義的でないことである。

本研究「可逆性アプローチによる高レベル放射性廃棄物(HLW)管理政策と世代間公平性」は、1990年代以降、国際社会において活発に議論されているHLW管理政策における可逆性(Reversibility)アプローチの研究が、世代間公平性問題の解への「導きの糸」になるとの仮説に立脚する。日本、フランス、イギリス、ドイツ、アメリカのHLW管理政策における可逆性アプローチの研究動向を詳細に調査研究するとともに、異なる立場の専門家(知の三角測量)と多世代の市民を包摂した熟議の「場」(HLW市民会議)を形成し、可逆性アプローチによる2つの世代間公平性原理の統合の可能性を検討する。

HLW管理政策における世代間公平性問題解決への可逆性アプローチの可能性(概念図)



#### 研究会メンバー

松岡俊二	早稲田大学国際学術院 (アジア太平洋研究科)・教授
勝田正文	早稲田大学理工学術院 (環境・エネルギー研究科)・教授
師岡慎一	早稲田大学理工学術院 (先進理工学研究科)・特任教授
松本礼史	日本大学生物資源科学部・教授
黒川哲志	早稲田大学社会科学総合学術院 (社会科学研究科)・教授
竹内真司	日本大学文理学部・教授
井上 弦	長崎総合科学大学総合情報学部・准教授

#### リサーチ・アシスタント (事務局)

CHOI Yunhee 早稲田大学アジア太平洋研究科・博士後期課程